

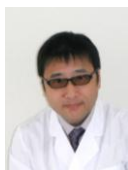
看護部ホームページより

看護部重点課題です。達成できるように一人一人が取り組みましょう。まずはラダー認定です。スタッフ全員が認定取得に向けて研修や看護過程の展開などの課題に向け頑張りましょう。

【2012年度 愛媛労災病院看護部 重点課題】

1. 地域連携室の充実を図り、地域の人々の健康増進の支援を行います。
2. 勤労者看護に積極的に取り組み、仕事を持った人が健康に働くことが出来るように支援していきます。
3. 教育環境の充実を図り、看護師の看護実践を向上させチーム医療の推進的役割を担い救急医療・高度医療に積極的に取り組みます。
4. 潜在看護師研修及び新人看護師研修事業に参画し、地域看護の質向上に取り組みます。

4月から当院が待ち望んでいた麻酔科医師が1名増えました。寺尾先生が当院に来てくれたことで麻酔科依頼の手術もスムーズに入れることが出来るようになりました。先生はユーモアのある楽しい一面もあり、熱心で熱い一面もある先生です。これからよろしくお願いします。



病棟トピックス～ICU～

ICUではどんな症例も受入れるべく日々研鑽しています。今一番気をつけて取り組んでいることは**感染予防**です。「日本医科大学病院の集中治療室で、多剤耐性菌アシネトバクターが11人の入院患者から検出され、このうち6人が死亡したが、もともとの病気が原因とみられ、感染とは関係ないという。院内感染として対策委員会を設置した。」という情報を産経新聞から5月にキャッチ。ワンフロアのICUでは院内感染予防は最重要注意項目と再認識し、「**PPEの徹底と今まで以上の手指衛生**」を合言葉に各自の自覚と相互注意で感染予防に努めています。



- 平成24年度の
ナースレターは
1. 毎月発行
 2. 神戸研修センターの研修報告の掲載
 3. 病棟トピックスの掲載



を3本柱に読みやすく、興味の持てる内容でお届けしたいと思います。もちろん看護部の動向も掲載していきます。研修参加される方はご協力をお願いします。

～医療安全について～

医療安全管理者
高橋 令子

4月から医療安全管理者となりました。安全確保は、医療の質の最低条件です、当院のインシデント報告件数は、年間454件、ヒヤリハットレベルでの報告はそのうちの14%(65件)と少ない状況です。大きな1件の事故の下には約300件のヒヤリハットが存在すると言われています。**“ヒヤッ!”としたことを報告することは、システムを改善することにつながります**ので、皆さんのご協力をお願いします。看護師誰もが安全行動を実践できるように、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。



★システム改善の一例★

ある事例を基に、システムの改善に取り組みました。5月21日よりウィズエアーク手術室管理になっています。手術後の肺塞栓予防に努めましょう



stop the 医療事故 ～共有したい事例～

「大阪市立大付属病院は4月20日、白血病で呼吸不全となった患者に、手動で肺に酸素を送る蘇生用バッグを使用したことが、事前にバッグを組み立てた看護師が**酸素の逆流防止弁を付ける位置を間違えたため**、十分に機能せず、治療中に酸素を肺に十分送り込むことができず、低酸素脳症となる医療事故があったと発表した。」読売新聞より**事前の確認と機器の取り扱いの熟練は大切です。再確認しましょう。**

ナースレターに載せたいことがあれば情報管理委員会にお願いします。皆さまの**投稿をお待ちしています**。看護部ケアチーム会のホームページがリニューアルしています。是非覗いてみて下さい。

